

1. 自然環境を生かした農業

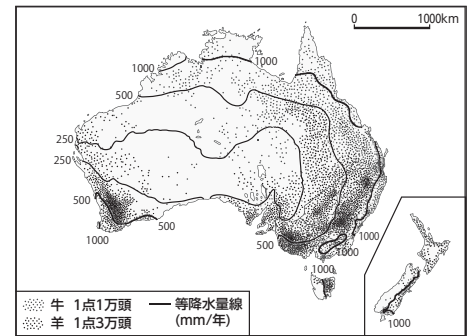
- (1) 資料Ⅰを見て、オーストラリアの牛と羊の分布の特色を、降水量との関わりを考えてみよう。

(例) 牛は北東部の年降水量が500mm以上の場所で多く飼育されていて、羊は南東部と南西部の約500mmの場所で多く飼育されている。また、内陸部でも牛や羊の飼育がわずかに行われている。

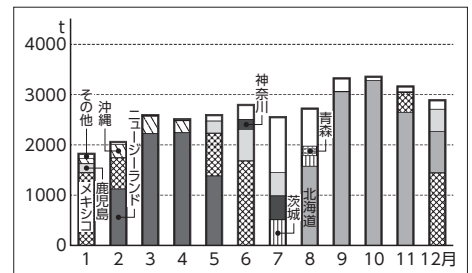
- (2) 資料Ⅱから気付いたニュージーランドのかぼちゃの特色とその理由を考えてみよう。

(例) 日本のかぼちゃが出回らない2～5月にニュージーランドのかぼちゃが取り扱われていて、それは、日本とニュージーランドの季節が逆であることを生かしているためである。

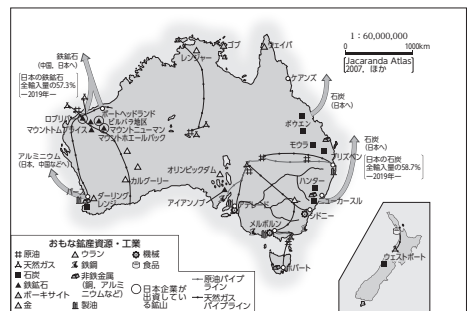
資料Ⅰ 牛と羊の分布



資料Ⅱ 東京の卸売市場で取り扱われるかぼちゃの産地



資料Ⅲ 鉱産資源の分布



2. 鉱産資源の輸出が盛んなオーストラリア

- (1) 資料Ⅲを見て、主な鉱産資源が採掘されている地域とその輸出先をまとめてみよう。

鉱産資源	採掘されている地域	主な輸出先
鉄鉱石	北西部	中国、日本
石炭	北東・南東部	日本
ボーキサイト	北部	日本、中国など

- (2) オーストラリアで行われている、地表を削って掘り下げる鉱産資源の採掘方法を何といいますか。

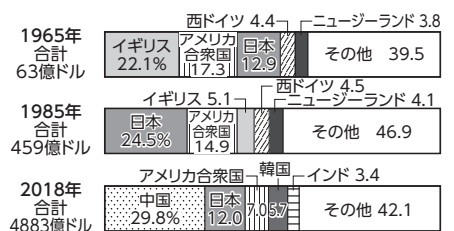
露天掘り

3. アジアとの結び付きを強めるオーストラリア

- オーストラリアの貿易相手国の変化について、資料Ⅳから分かることを書いてみよう。

(例) 1965年は欧米諸国が主体だったが、その後日本や中国などのアジアの国々に変わってきている。

資料Ⅳ オーストラリアの貿易相手国の変化



本時のまとめ

◆ オセアニアとアジアの結び付きが強まってきた理由について説明しよう。

(例) ヨーロッパよりもアジアの方が人口が多く距離も近いうえ、工業化に伴い経済発展が進んでいるため。